

第6回 在宅医療とみんながつながる会 ご報告

開催日時:平成26年6月19日(木)19:00~21:00 会場:仙台サンプラザホテル

内容

【情報提供】

「つながりライン」について

【講演】

「目からウロコの地域支え合い」

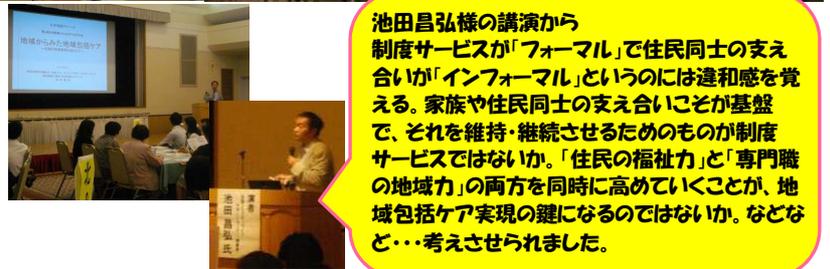
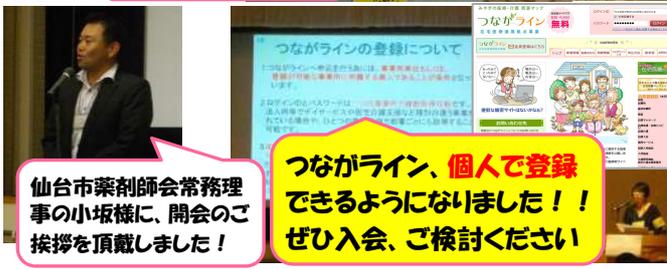
全国コミュニティライフサポート理事長 池田昌弘氏

【情報交換】

ティータイム キーワード「今日の話聞いて」

参加者152人 内訳(人)

病院29(医師1、看護職6、相談職15、OT/PT1、管理栄養士1、事務他4)
 診療所19(医師4、看護師10、薬剤師1、相談職等3、管理栄養士1)
 歯科診療所(歯科医2)、薬局(15)、訪問看護事業所(14)
 訪問マッサージ事業所(2)、訪問介護事業所(8)、訪問入浴事業所(8)
 通所系事業所(3)、地域包括支援センター(3)、居宅介護支援事業所(30)
 グループホーム(4)、有料老人ホーム(5)、サービス付高齢者住宅(2)
 相談機関(3)、その他(4)

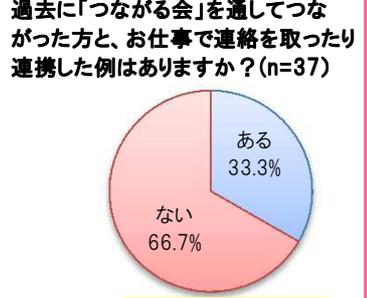
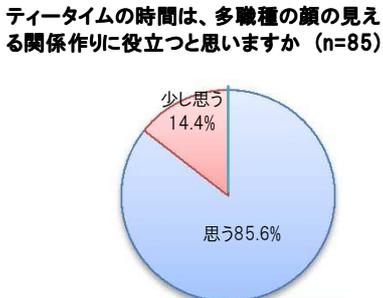
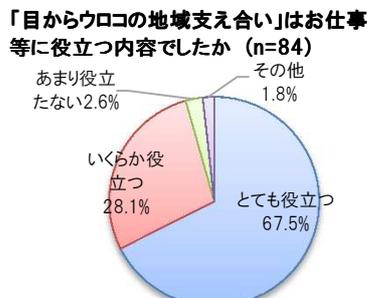
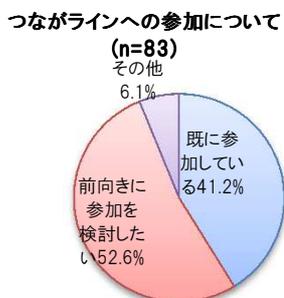


池田昌弘様の講演から
 制度サービスが「フォーマル」で住民同士の支え合いが「インフォーマル」というのは違和感を覚える。家族や住民同士の支え合いこそが基盤で、それを維持・継続させるためのものが制度サービスではないか。「住民の福祉力」と「専門職の地域力」の両方を同時に高めていくことが、地域包括ケア実現の鍵になるのではないかと...考えさせられました。



終了後も交流は続きます!

当日アンケート結果(抜粋)



つながりラインについて

個人向けの登録はありがたい。
 もっと多様な職種があればいいですね。たとえばボランティアの方とか。施設の空き状況の把握には、とても助かります

「目からウロコの地域支援」を聞いて

地域での活動における仕掛けが必要だと思いました。色々やっていますが、もっと工夫して人と人とのつながりをさらに広げていきたいです。

日頃、法律の中でマヒしている「当たり前」の感覚を刺激されました。今後の介護、地域は笑えないくらい問題が山積みと思いがながら、しばられないケアマネをしていきたいと思えます。

その人にとっての支援とは?ということ深く考えることができました。自己満足ではなく、その人の生き方にどこまで寄り添えるか、共に考え歩めるのが大切だと思った。

ティータイムの時間について

(公的)サービスが地域のつながりを断ち切っていないか?という視点に目が覚める思いをしました。

先輩方に困られて、とても為になるアドバイスや励ましを頂きました。

つながる会で知り合った方との連携

栄養士の方に在宅の患者様の食事について相談させて頂いた。

訪問看護事業所と連携、訪問リハビリにつながりつけられた。

医師、薬剤師、そして包括のケアマネさんとのつながりが出来ました。